

(よく出てくる漢字) 各文…:かくぶん 最も…:もっとも 選ぶ…:えらぶ 主張…:しゅちよう

01 次の各文の()をうめるのに最もふさわしい言葉を、あとの「1~4」からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

① そのデザートには、りんご、ぶどう、()、キウイなどといった、いろいろなフルーツが使われていた。

- 「1 ごぼう 2 果物 3 バナナ 4 ヨーグルト」

② 算数の文章題では、答えに()をつけないとバツになることがよくある。

- たとえば、メートル、リットル、グラムなどだ。
「1 順位 2 単位 3 地位 4 方位」

02 次の各文を説明した☆の文の()をうめるのに最もふさわしい言葉を、あとの「1~4」からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

① 手前に引張つてもなかなか動かなかった扉を、試しに横にスライドさせてみたら、すんなりと開いた。

☆これは、扉を動かす()を変えたらうまくいったという話である。

- 「1 距離 2 目的 3 手順 4 方向」

② 「賛成はできませんが、あなたの言いたいことは分かります」と言われた。

☆これは、「賛成はできないが、()はできる」ということだろう。

- 「1 理解 2 説得 3 合意 4 許可」

03 次の文章において—部①・②と対比されている言葉をあとの「1~4」からそれぞれ選び、番号で答えなさい(対比とは、くらべることです)。

アメリカの国土の面積は日本の二五倍以上あるが、人口は二・五倍程度である。計算上は、日本よりアメリカのほうがゆったりした空間があると言えるだろう。

① 面積 ② 二・五倍

- 「1 二五倍 2 計算 3 空間 4 人口」

04 次の[]の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

雲が目を隠すと、部屋の中が暗くなった。それで、消えていないライトが残っていることに気づいた。ジロウは、一度結んだ靴ひもを面倒そうにほどき部屋に戻り、スイッチを消して再び玄関へ出ると、急いで靴を履いた。

〈問い〉ジロウが消えていないライトに気づいた理由として最もふさわしいものを次の1~4から一つ選び、番号で答えなさい。

- 一度結んだ靴ひもをほとくのが面倒だったから。
- 雲が目を隠したから。
- ジロウは節電を心がけるようなまじめな性格だったから。
- 太陽が雲に隠され、部屋に差し込む光が減ったから。

05

次の二つの文の（ ）をうめるのに最もふさわしい漢字一字を、あとの「1〜5」からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。「1〜5」には、答えに用いないものも含まれています。同じ番号を二度使うことはできません。

①・②および③・④がそれぞれ完全解答

・震度4の地震に対して「うわー、もうダメかも」などと言いながら不安そうな顔をするのは、やや（① 観）的すぎるだろうが、「震度4くらい、無視、無視」などと言いつ放つのは、逆に少し（② 観）的すぎるかもしれない。

・今の地震は横浜で震度4でした」という言い方と「今の地震はけっこう大きかったよ」という言い方をくらべると、前者は（③ 観）的、後者は（④ 観）的だと言えるだろう。

- 〔1 客 2 楽 3 悲 4 主 5 苦〕

06

次の□の内容から読み取れる考え方にしたがって、あとの1〜3から最も整った文を一つ選び、番号で答えなさい。

次のA〜Cのうち、最も整った文はAである。

- A 山梨県は海に接していないが、山口県は海に接している。
- B 山梨県は海に接していないが、山口県は海に接しており、島も含まれる。
- C 山梨県は山が多いが、山口県は海に接している。

1 野球では攻めと守りを繰り返しながら試合を行うが、サッカーでは攻める役割と守る役割をはっきり分けて試合を行うわけではない。

2 野球では攻める役割と守る役割がはっきりと分かれているが、サッカーでは攻める役割と守る役割がはっきりと分かれているわけではない。

3 野球では攻める役割と守る役割がはっきりと分かれており、攻めと守りを交互に入れ替えながら試合を行うが、サッカーでは攻める役割と守る役割がはっきりと分かれているわけではない。

07

次の□の文を読み、あとの問いに答えなさい。

夏休みになると、都会に住んでいる子どもたちであっても、川や海で泳ぐ、林の木々を拾い集めて火を起こす、広い草原を駆け回って遊ぶ、などというような、（ ）機会が増えるはずだ。

①（ ）をうめるのにふさわしくないものを次の1〜4から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 自然に親しむ
- 2 非日常から遠ざかる
- 3 五感を刺激する
- 4 文明生活を離れる

② □の文で挙げられた具体例に他の例をつけ加えるとき、ふさわしくないものを次の1〜4から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 森に分け入って昆虫を探す
- 2 湖で手漕ぎボートに乗る
- 3 動植物の生態について調べる
- 4 テントを張って川原で一泊する

08 次の [] の文章の中に、あとの①・②の内容を加えます。それぞれ、(1) (6) のどの位置に加えればよいか、1〜6の番号で答えなさい。

失敗は成功のもと、などと言う。なぜだろうか。整理すれば、こういうことだろう。失敗する。(1)だから、次は失敗しないようにしようと思う。(2)だから、失敗の確率が減る。(3)だから、成功する。逆に、成功は失敗のもと、とも言えるのかもしれない。成功する。(4)だから、成功の要因を冷静に考えるには至らない。(5)だから、次に成功する確率は高まらない。(6)だから、失敗する。

① だから、失敗の原因を探り対策を練るようになる。

② だから、次も成功するイメージがわき、油断が生じる。

09 次の①〜③の文が、形式上、あとの「パターン」1〜3のどれと共通しているかを考え、それぞれパターンの番号で答えなさい。

① 自動車・電車などの乗り物は陸上で、飛行機・ヘリコプターなどの乗り物は空の上で、ボート・ヨットなどの乗り物は水上で、それぞれ乗る。

② 体育の時間に行う運動は、跳び箱・マット運動など、主に体育館で行うもの、また、サッカー・リレーなど、主に校庭で行うもの、そして、水遊び・水泳など、プールで行うものに大別できる。

③ よく知られている料理は和風・洋風・中華風に分けられ、和風には寿司・天ぷら、洋風にはピザ・シチュー、中華風にはギョーザ・チャーハンなどがある。

「パターン」

- 1 野菜は、根菜類・果菜類・葉菜類に大別され、それぞれ、大根・ニンジン・ゴボウ、トマト・キュウリ・ナス、キャベツ・白菜・レタスなどが挙げられる。
- 2 野菜は、大根・ニンジン・ゴボウなどの根菜類、トマト・キュウリ・ナスなどの果菜類、キャベツ・白菜・レタスなどの葉菜類に分けられる。
- 3 大根・ニンジン・ゴボウなどの野菜は根菜類、トマト・キュウリ・ナスなどの野菜は果菜類、キャベツ・白菜・レタスなどの野菜は葉菜類と呼ばれる。

10 次の [] の文章の主張としてふさわしいものを、あとの1〜4から二つ選び、番号で答えなさい。

(完全解答)

「みんなで力を合わせて問題を解決しよう」というような呼びかけは、聞こえはいけれど、あまり効果的でないことも多い。たとえばそこに三〇人のメンバーがいるとして、その三〇人それぞれの行動を促すに足るメッセージであるとは言えない。それぞれの役割を限定的に明示することが、リーダーには求められるのではないか。

- 1 個人の小さな力ではなく、みんなの大きな力で問題を解決できるよう、リーダーはより効果的なメッセージを発するべきだ。
- 2 集団全体よりも個人を意識したメッセージを、リーダーは発するべきだ。
- 3 リーダーは、メンバーそれぞれの行動が促されるよう、それぞれの役割を決めつけないようにすべきだ。
- 4 あいまいなメッセージよりも、はっきりしたメッセージをリーダーが発することで、メンバーは行動しやすくなるはずだ。

1 次の各文の () を、それぞれ最もふさわしい漢字一字でうめます。

あとの「 」の中に書かれた読みがなを漢字に直し、その漢字を用いて答えなさい(解答用紙に漢字を書きなさい)。「 」には、答えに用いないものも含まれています。

① 電車は () 的()な乗り物だから、あまりだらしない身なりで乗るわけにはいかない。

② () 的()にとらえれば、先生の朝のお話と帰りのお話とが実は続いているということに気づくはずだ。

「ない りょう こう てん す せん」

2 次の () の文章の () 部の理由として最もふさわしいものをあとの ()

5から一つ選び、番号で答えなさい。

多い・少ない、広い・狭い、早い・遅いという言葉は、形容詞と呼ばれる。一般に、形容詞を使って何かを主張しても、あまり説得力が出ない。今日はいつもより早く起きたんだよ、とうったえても、五分早いのか二時間早いのか、朝五時なのか朝七時なのか、そういった細かな情報は含まれず、どうしても感覚的になってしまう。感覚的な表現というのは、説得力を持たないのだ。ただ、この「感覚的」という言葉自体も、やや感覚的な言葉だと言えないこともないが。

1 早いという形容詞は、どのくらい早いのかという細かな情報を含まないから。

2 形容詞は感覚的な表現であるため、感覚的な表現は説得力を持たなくなるから。

3 早い・遅いなどという形容詞は、相手の感覚にうったえる力がないから。

4 形容詞は感覚的だ、という表現自体が、感覚的な表現であるから。

5 感覚的な表現である形容詞は、相手を納得させるだけの力を持たないから。

3 次の () の文章の内容を説明した☆の文の () をうめるのに最もふさわしい言葉をあとの () から一つ選び、番号で答えなさい。

セリトリプチンという薬品は、マーケシムを近づけるガルパニソンの働きを無効化するが、同じくマーケシムを近づける性質を持っているが機能時間が異なる。パルジソンの働きは無効化できない。

☆ パルジソンは、() と機能時間が異なる。

1 ガルパニソン 2 セリトリプチン

3 マーケシム 4 薬品

4 あとの () の文のうち、一文目・二文目・三文目の構造(関係性)が(基本形)に最も近いものを一つ選び、番号で答えなさい。

〈基本形〉 五時までに連絡がなければ待ち合わせ場所は予定どおりだと聞いている。もう五時五分だが、連絡が来ていない。待ち合わせ場所は予定通りだろう。

1 駅前を歩いていると、放し飼いの犬が突然曲がり角から飛び出してきた。僕は驚いて大声を上げてしまった。周りの人が一斉に僕を見た。

2 一〇歳の誕生日には特別なプレゼントをくれると言っている友だちがいた。今日は私の一〇歳の誕生日だ。今日は朝から特別なわく感でいっぱいだった。

3 今夜は台風が来ると朝から予報が出ていた。みな、早めに仕事を切り上げて帰宅した。結局、台風は上陸せずに去ってしまったが。

4 急にライトが消えたんだよ。電池が切れたんだろうけど。まあ、買ったときに入っていた、いわゆる「テスト用電池」だからね。

あとの①～④の文章が持つ意味上の「骨組み」(対比構造)を、漢字一字の組み合わせで表現します。①・②はそれぞれ組み合わせが一つ、③・④及び〈例〉はそれぞれ組み合わせが二つになっています。

「骨組み」として最もふさわしい漢字をあとの〈語群〉からそれぞれ選び、

〈例〉にならって番号で答えなさい。

答えとなる番号の順序は、文章の内容の順序に合わせること(例の※参照)。

〈例〉の答えで使われている2・4・6・12は、答えに使えません。同じ記号は一度しか使えません。答えに用いない記号も含まれています。

(組み合わせごとに完全解答)

〈例〉

多くのメンバーは、「また負けたよ、もうだめだ」「あきらめるしかない」などどつぶやいていた。しかし、キャプテンは違った。「負けたけど、一点差だったし、気にすることないさ。次こそ、がんばろう!」

〔考え方〕…… 後 ↔ 前 (後ろ向き ↔ 前向き)

暗 ↔ 明 (暗い ↔ 明るい)

〔解答〕…… (6) ↔ (2)

(4) ↔ (12)

(※) 順序も採点対象。たとえば、「6-2」を「2-6」とするのは不可。

ただし、たとえば「6-2」「4-12」を「4-12」「6-2」とするのは可。

① 「自由時間を増やしたほうがいいと思います。そのほうが楽しいからです」と、ある子が言った。自由時間を増やすことには賛成だけど、「楽しいから」ではなく、もっとみんなが納得するような説明をしないとイケない。

② 「全米一位」といったキャッチコピーのついた映画は多い。しかし、それが多くの人から本当に高く評価されているとは限らない。

③ 「私と小鳥とすず」という金子みすゞの詩があるが、「私」と「小鳥」と「鈴」をくらべるのは、おかしいと思う。だって、くらべようがないじゃないか。たとえば鈴だったらカステネットとくらべるとか、枠組みを狭くすべきだろう。要するに観点をそろえるべきなんだ。

④ 転校した友だちと毎週続けていた手紙のやりとりも、毎週が毎月、毎月が毎年になり、そしていつしか、止まってしまった。それを話すと、父は言った。「人間関係というのはそんなものだよ」

〈語群〉

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 1 損 | 2 前 | 3 異 | 4 暗 | 5 悪 | 6 後 | 7 近 |
| 8 理 | 9 親 | 10 遠 | 11 多 | 12 明 | 13 情 | 14 得 |
| 15 名 | 16 疎 | 17 実 | 18 一 | 19 同 | | |

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

経済産業省は、二〇二〇年の東京オリンピックに向け、既存の（JIS日本工業規格）案内用マーク・図記号の半数を国際規格（ISO国際標準化機構）に合わせて変更する旨などを発表した（二〇一六年七月）。

分かりやすい例は、楕円形に三本の湯気が描かれた温泉のマークだ。これは外国人には「温かい料理」などの意味に受け取られるらしい。そこで、湯気だけでなく、入浴している三人の人間の姿を加えた国際規格のマークに変更されるという。

オリンピックと言えば世界中から人が集まる場であり、外国人への配慮は当然望まれることだ。ただ、日本の温泉マーク発祥の地、群馬・磯部温泉の関係者は頭を悩ませていたという（上毛新聞）。読売新聞の読者投稿欄にも群馬県民の声載っていた（二〇一六年八月）。国際規格のマークは、家族風呂である・混浴であるといった誤解を与えるかもしれないし、そもそも三五〇年以上親しまれてきたマークだから、この変更には疑問を感じる、という内容だ。

さて、あなたはどうかお考えだろうか。

ここでは、変更すべきか否かという結論はさておき、マークとはそもそもどういうものなのかということと、同じ「記号」である「言葉」と比較しながら考えてみることにする。

企業のロゴマークなどは別として、汎用性・公共性の高いマークというのは、いわば世界の共通語である。どこの国の人であれ、見ただけで意味を推測できる。実に便利で、有益だ。

そう考えるうちに、いつそのこと、「言葉」も同じように統一してしまえばいいのに、という発想が浮かんでくる。つまり、世界の言語を、ある一つの共通語のみにしてしまえばいいのではないか、ということだ。英語を共通語にするという手もあ

ろうが、もつと公平に、「共通語」という新しい言語を生み出したらどうだろうか。なんだかとても理想的な感じがする。理想郷が生み出されそうなイメージだ。しかし、実のところ、それは不可能だと考えられる。

言葉というものは、その時代、その地域における「必要」に応じて、生み出されてきたものだからだ。稲作に依拠した生活をしてきた日本人は、稲・米・飯といった言葉を使い分けている。その使い分けが必要だったからだ。一方、米国人は（米国という名とは裏腹に）、米にまつわる言葉の使い分けを日本ほどには必要としない。ライス（rice）という言葉一つで、日本における稲・米・飯それぞれの意味を原則としてカバーしている。これが、「必要に応じて」ということだ。つまり、こうした区別の必要の度合いが、国や時代によって異なっているわけだ。そうであれば、「共通語」の創造は、理想というよりは単なる幻想であるということになるだろう。

ひるがえって、マークについてはどうなのか。マークとは、先にも述べたように「共通語」である。とはいえ、マークは、文化的差異のない指示対象についてしか用いられない。ここでは、必要の度合いに差異がない。風呂は、ほとんどの国に存在し、それを指し示す記号がすべて必要である。そういった、限定された狭い範囲の対象についてのみ、マークというものは「共通語」として機能する。

今、文化的差異と述べた。その国、その社会ごとに独自の文化を生み出すものは、言語である。私たちは先に述べた「必要」によって名づけ、名づけによって意味範囲を規定する。そこにその社会固有の言語体系が築かれ、同時に独自の文化が生まれる。

そういう社会性を生み出すには、マークでは足りない。あくまで、言葉が必要だ。マークはほとんど覚える必要がないが、言葉は覚える必要がある。その社会においてある言葉がどのような意味と結びつくのかを、学ばなければならない。言ってみれば、言葉を学ぶことによって、独自の社会が構築されていくわけだ。

今、「結びつく」と書いた。先に挙げた「飯(めし)」は、フランス人が聞けば「ありがとう(メルシー)」に聞こえるかもしれない。それは、言葉(記号表現、特に音素)と意味(記号内容)との間に必然的な結びつきがないことを示しており、だからこそ私たちは言葉を学ぶ必要があるのだが、この「結びつきがない」ことを、ソシユールは恣意性と呼んだ。この恣意性があればこそ、総合的に「ライス」と呼ぶのではなく、茶碗に盛られたあの白い粒々の集合体を特に「飯」と呼んだりすること、すなわち意味の境界線に差異を生じさせる名づけが可能になり、そこに社会の固有性が生じるわけである。言葉の持つこうした恣意性は、マークでは、だいぶ弱まることになる(ソシユールは、こうした「マーク」を「象徴」と呼んだ)。

さて、ここで温泉マークの話に戻る。

問題は、温泉というものが日本独自の文化であると言えるかどうかである。これについては賛否両論あるようだ。もし温泉が日本独自のものであり、従来の湯気のマークがその独自性をも表しているということならば、国際規格に統一せずこれまでどおりに使い続けるという結論でもよいだろう。そのとき、その湯気マークはマークという性質を少し離れ、言葉に近づいている。

しかし、温泉そのものは他国にも相当数存在しており、そもそも、湯気マークは国内でさえ単なる公衆浴場(銭湯)の意味にも受け取られ得るので、そこには必ずしも独自性があるとは言えないという考え方もできる。この主張を採るならば、湯気マークはやはりマークなのであり、規格の統一にことさらに異を唱えるのはいきすぎであると言えよう。

マークとしての機能を優先的に考えれば、混浴・家族風呂という誤解を恐れるより、温かい料理、つまりレストランだという誤解を恐れるほうが、理にかなっていると言えるだろう。

① 言葉およびマークについて述べた次の1〜5の説明のうち、本文から読み取れる筆者の主張に沿った内容になっているものを二つ選び、番号で答えなさい。

1 オリンピックを意味する五輪マークは、勝利や敗北、肉体や精神など、さまざまなイメージを自由に広げさせるものであり、五輪マークとその意味との間に必然的なつながりはないと言える。

2 五本の線の上に音符や各種記号を記すことで楽曲を可視化する五線記譜法は世界中に広まっているが、これは記号であるという意味において言語と同じであり、言語が各国の社会的独自性を生み出すのと同じく、各国ならではの独自の楽曲を生み出す働きを果たしている。

3 英語であるツリー(tree)もウッド(wood)も、和英辞典を引くと、項目の冒頭に「木」という同じ意味が書いてあることが多い。こうした現象は、たとえばアメリカと日本の道路標識の違いを調べてみると、より多く生じるはずである。

4 日本語では「水」と「湯」は別物のイメージが強いが、英語では「水」と「熱い水(ホットウォーターhot water)」にすぎず、別物のイメージが弱い。これは言葉の恣意性のために生じる現象である。

5 トイレや非常口の場所を示すマークは、日本でもアメリカでもフランスでも不可欠なものであるため、それがその国々の社会の特徴を表現するものであると言ふには不十分である。

② 本文において、言葉とはどのようなものだと述べられていますか。

次の〈条件〉に従って、過不足なく説明しなさい。

〈条件〉 ・ 120字以上、160字以内で書くこと（無理に一文にまとめる必要

はありません）。句読点も字数に入ります。

・ 本文中の『 』 の間の内容をもとにして書くこと。

・ 「マーク」という言葉は、使わないこと。

160

120